

令和4年度 確定保険料・一般拠出金算定基礎賃金集計表／令和4年度 確定保険料算定内訳

(算定期間 令和4年4月～令和5年3月)

※前期＝令和4年4月1日～同年9月30日 後期＝令和4年10月1日～令和5年3月31日

※概算・確定保険料・一般拠出金申告書(事業主控)と一緒に保管してください。

労働保険 番 号	都道府県		所掌	管轄		基幹番号						枝番号			出向者の有無		事業の名称	電話	-	-	具体的な業務又は作業の内容				
	1	1	1	0	1	1	2	3	4	5	6	0	0	0	受	名	株式会社 大宮支部	郵便番号	331	-	0802	製造業			
															出	名									
																	埼玉県さいたま市北区本郷町6678								

区分 月	労災保険および一般拠出金(対象者数及び賃金)										雇 用 保 険 (対 象 者 数 及 び 賃 金)					
	(1) 常用労働者		(2) 役員で労働者扱いの人		(3) 臨時労働者		(4) 合 計 ((1)+(2)+(3))		被保険者						(7) 合 計 ((5)+(6))	
	常用労働者のほか、パート、アルバイトで雇用保険の資格のある人を含めます。		実質的な役員報酬分を除きます。		(1)(2)以外の全ての労働者(パート、アルバイトで雇用保険の資格のない人)を記入してください。				(5) 常用労働者、パート、アルバイトで雇用保険の資格のある人(日雇労働被保険者に支払った賃金を含む)		(6) 役員で雇用保険の資格のある人(実質的な役員報酬分を除きます)					
	(人)	(円)	(人)	(円)	(人)	(円)	(人)	(円)	(人)	(円)	(人)	(円)	(人)	(円)	(人)	(円)
令和 4 年 4 月							0	0					0	0		
5 月							0	0					0	0		
6 月							0	0					0	0		
7 月							0	0					0	0		
8 月							0	0					0	0		
9 月							0	0					0	0		
賞与 年 月								0						0		
賞与 年 月								0						0		
令和4年度前 期 計		0		0		0	⁽¹⁰⁻¹⁾ 1,501,500			0		0	⁽¹⁰⁻¹⁾ 1,501,500			
10 月							0	0					0	0		
11 月							0	0					0	0		
12 月							0	0					0	0		
令和 5 年 1 月							0	0					0	0		
2 月							0	0					0	0		
3 月							0	0					0	0		
賞与 年 月								0						0		
賞与 年 月								0						0		
令和4年度後 期 計		0		0		0	⁽¹⁰⁻²⁾ 1,502,500			0		0	⁽¹⁰⁻²⁾ 1,502,500			
合 計	0	0	0	0	0	0 ⁽⁹⁾ 17	⁽¹⁰⁾ 3,004,000						⁽¹¹⁾ 17	⁽¹²⁾ 3,004,000		

(備考) 役員で労働者扱いの人の詳細	氏 名	役 職	雇用保険の資格
			有 ・ 無
			有 ・ 無
			有 ・ 無

常時使用労働者数 (労災保険対象者数)	(9)の合計人数	÷12＝	申告書④欄へ転記	
				人

・各月賃金締切日等の労働者数の合計(常時使用労働者数の場合は(9)、雇用保険被保険者数の場合は(11)より転記)を記入し、12で除し、小数点以下を切り捨てた月平均人数を記入してください。切り捨てた結果、0人となる場合は1人としてください。
・年度途中で保険関係が成立した事業については、保険関係成立以降の月数で除してください。

雇用保険被保険者数	(11)の合計人数	÷12＝	申告書⑤ 欄へ転記	
				人

《 令和4年度 確定保険料算定内訳 》

(1)一元適用事業の場合は、次の確定保険料算定内訳により保険料算定基礎額及び保険料額を算定し、当該額を申告書に転記してください。

確定保険料算定内訳	労災保険分	算定期間 令和 4 年 4 月 1 日 から 令和 5 年 3 月 31 日 まで			
		① 保険料算定基礎額	② 保険料率	③ 確定保険料額(その1)	④ 確定保険料額(その2)
	前期分 (令和4年4月1日～令和4年9月30日)	(イ) (10-1)、千円未満端数切り捨て 申告書②欄(イ)へ転記 千円	(ハ) 1000分の	(ニ) (イ)×(ハ)、一円未満端数は切り捨てない 申告書②欄(ニ)へ転記 円	
	後期分 (令和4年10月1日～令和5年3月31日)	(ロ) (10-2)、千円未満端数切り捨て 申告書②欄(ロ)へ転記 千円	2.5	(ホ) (ロ)×(ハ)、一円未満端数は切り捨てない 申告書②欄(ホ)へ転記 円	
	合 計	(イ)+(ロ) 申告書②欄(イ)+(ロ)と⑧欄(ロ)へ転記 千円		(ニ)+(ホ) 一円未満端数は切り捨てない 申告書②欄(ニ)+(ホ)へ転記 円	(7) (ニ)+(ホ)の端数処理 注意参照 申告書⑩欄(ロ)へ転記 円

- ①欄 適用期間(前期・後期)に該当する保険料算定基礎額を集計表から転記してください。
千円未満の端数が生じる場合は、その端数を切り捨ててください。
- ②欄 【労災保険分】令和4年度労災保険率(またはメリット料率)を(ハ)に記入してください。
【雇用保険分】適用期間(前期・後期)に該当する雇用保険率を(チ)、(リ)に記入してください。
- ③欄 ①欄の額に②欄の率を乗じた額を記入し、一円未満の端数が生じた場合であってもその端数は切り捨てないでください。
- ④欄 【労災保険分】③欄の(ニ)+(ホ)に一円未満の端数が生じる場合は、※の場合を除いて端数を切り捨てた額を(7)に記入してください。
※①欄の(イ)と(ハ)の額、(ロ)と(ト)の額がそれぞれ同額であり、かつ、③欄の(ニ)+(ホ)と(ヌ)+(ル)の各々の小数点以下を足した結果、一円以上となる場合にのみ、その端数を切り上げた額を(7)に記入してください。
【雇用保険分】③欄の(ヌ)+(ル)に一円未満の端数が生じる場合は、その端数を切り捨てた額を(7)に記入してください。

雇用保険分	算定期間 令和 4 年 4 月 1 日 から 令和 5 年 3 月 31 日 まで			
	① 保険料算定基礎額	② 保険料率	③ 確定保険料額(その1)	④ 確定保険料額(その2)
	(ヘ) (12-1)、千円未満端数切り捨て 申告書②欄(ヘ)へ転記 千円	(チ) 1000分の 9.5	(ヌ) (ヘ)×(チ)、一円未満端数は切り捨てない 申告書②欄(ヌ)へ転記 円	
	(ト) (12-2)、千円未満端数切り捨て 申告書②欄(ト)へ転記 千円	(リ) 1000分の 13.5	(ル) (ト)×(リ)、一円未満端数は切り捨てない 申告書②欄(ル)へ転記 円	
	(ヘ)+(ト) 申告書②欄(ヘ)+(ト)と⑧欄(ホ)へ転記 千円		(ヌ)+(ル) 一円未満端数は切り捨てない 申告書②欄(ヌ)+(ル)へ転記 円	(7) (ヌ)+(ル)の端数処理 注意参照 申告書⑩欄(ホ)へ転記 円

(2)二元適用事業が労災保険分を申告する場合は、算定基礎額は次表により算定し、申告書に転記してください。

労災保険分の算定基礎額 (二元適用事業のみ記入)	(10)の合計額の千円未満を切り捨てた額	申告書⑧欄(ロ)へ転記 千円
-----------------------------	----------------------	----------------

(3)一元適用事業及び二元適用事業が一般拠出金を申告する場合は、算定基礎額は次表により算定し、申告書に転記してください。

一般拠出金の算定基礎額 (労災保険関係が成立している全ての事業が記入)	(10)の合計額の千円未満を切り捨てた額	申告書⑧欄(ヘ)へ転記 千円
--	----------------------	----------------